

和泉市 生活環境課

『ベランダ d e キューロ』 12月～2月のモニタリング結果

生ごみの減量を目的に、平成 26 年 12 月より『ベランダ d e キューロ』を使ってモニタリングをおこなっています。

黒土の中にいる微生物が生ごみを分解していますが、どういった物が分解できるのか、臭いや虫など発生しないのか、また、どれだけの減量効果があるのか経過を観察しています。

1. 期間：平成 26 年 12 月 2 日（開始）～平成 27 年 2 月 28 日（3 か月間）

2. 場所：市役所内（2 号館 1 階にある生活環境課近くの出入口脇）

3. 投入物：市役所内喫茶食堂残渣 約 500 g / 1 回

※主に野菜類が中心で調理くず、ヘタ、皮など

（キャベツ、玉ねぎ、にんじん、ジャガイモ、ねぎ、もやし、大根、みかんの皮、白菜、なんきん、豆、グリーンピース、たくあん、麺、さわら（魚）、ご飯 など）

4. 投入回数及び処理量：

毎週火曜日・金曜日の週 2 回投入（年末年始等除く）

合計 21 回投入

処理量 10,500 g（21 回×500 g）

5. 土の温度：各月平均温度〔12 月 9.7℃、1 月 8.2℃、2 月 9.0℃〕

6. 分解日数：分解するまで約 1 週間から 10 日程度

7. モニタリング状況：

モニタリング開始以降、経過は順調で、臭いや虫の発生も無く、生ごみの分解も良好でした。

物の大きさによって分解速度が変わるため、なるべく細かくしてから投入するほうが良い。

また、魚は野菜くずに比べ分解されるまで時間がかかったが、最終的には分解される。

今後も経過を観察しながら、いろいろな物を使ってモニタリングをおこなっていきたいと考えています。